

# PRESS RELEASE



2026年2月17日

報道機関 各位

## 国連人口基金（UNFPA）と戦略的パートナーシップ締結

グローバルヘルスと妊産婦の健康の促進に向け連携強化



2026年1月23日、長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科は国連人口基金（UNFPA）と戦略的パートナーシップを締結しました。

この戦略的パートナーシップは、2024年12月16日に両者の間で締結された覚書（MOU）に基づき、グローバルヘルス分野における専門知識の共有を通じて開発支援を強化する協力体制を構築するものです。持続可能な開発アジェンダを推進するための長期的な協力を促進し、特に妊産婦の健康、性と生殖に関する健康と権利、ジェンダー平等、データに基づく開発の促進に焦点を当てています。すべての女性および若者が自らの健康と幸福を守るために知識と技能を身につけ、主体的に行動できる世界を実現するというUNFPAのビジョンを達成する上で、極めて重要なものです。

式典で挨拶した長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科の橋爪真弘研究科長は、「**本日の式典は、教育・研究・協働の取り組みを通じてグローバルヘルスの推進に取り組む、長期的なパートナーシップに向けた私たちの共通の決意と相互の信頼を、改めて確認するものです。**」と述べました。

UNFPAエチオピア事務所代表のKoffi Kouame氏は、「**UNFPAは、長崎大学との戦略的な協力関係により、とりわけ妊産婦の健康および人口動態の分野において、不可欠な研究や研修へのアクセスを拡大することができます。これらの取り組みは、女性や女児の健康と幸福の向上を通じて、その生活を大きく変えることに貢献するでしょう。**」と述べました。

本MOUは5年間を有効期間とし、両機関は進捗状況の確認および今後の共同活動の計画に向けて、定期的な協議を行うこととしています。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

UNFPA エチオピア事務所

野々垣 晶代 (Akiyo Nonogaki)

プログラム・スペシャリスト, UNFPA エチオピア

E-mail: [nonogaki@unfpa.org](mailto:nonogaki@unfpa.org)

Paula Fernández Seijo

コミュニケーション・スペシャリスト, UNFPA エチオピア

E-mail: [pfernandez@unfpa.org](mailto:pfernandez@unfpa.org)

長崎大学研究国際部感染症研究支援企画課熱帯医学系総務班

片山史子 (かたやまふみこ)

Tel : 095-819-7803

E-mail : [soumu\\_nekken@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:soumu_nekken@ml.nagasaki-u.ac.jp)